

# 精神保健福祉士養成課程における 新たな教育カリキュラムの内容(案)

# 目次

- 1 新たな教育カリキュラムの全体像・・・・・・・・・・・・・・・・1P
- 2 共通科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3P
- 3 非共通科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27P

# 1 新たな教育カリキュラムの全体像

		時間数(単位:h)								大学等	
		一般養成施設				短期養成施設				(単位:科目)	
		通学	通信			通学	通信			指定科目	基礎科目
			面接	教材	実習		面接	教材	実習		
共通科目	現代社会と福祉	60	—	180	—	60	—	180	—	○	—
	福祉行財政と福祉計画	30	—	90	—	—	—	—	—	○	○
	社会保障	60	—	180	—	—	—	—	—	○	○
	低所得者に対する支援と生活保護制度	30	—	90	—	—	—	—	—	○	○
	地域福祉の理論と方法	60	—	180	—	60	—	180	—	○	—
	心理学理論と心理的支援	30	—	90	—	—	—	—	—	○	○
	社会理論と社会システム	30	—	90	—	—	—	—	—	○	○
	権利擁護と成年後見制度	30	—	90	—	—	—	—	—	○	○
	人体の構造と機能及び疾病	30	—	90	—	—	—	—	—	○	○
	保健医療サービス	30	—	90	—	—	—	—	—	○	○
非共通科目	精神医学	60	6	162	—	60	6	162	—	○	—
	精神保健学	60	6	162	—	60	6	162	—	○	—
	精神科リハビリテーション学	60	6	162	—	60	6	162	—	○	—
	精神保健福祉論	90	9	243	—	90	9	243	—	○	—
	精神保健福祉援助技術総論	60	6	162	—	—	—	—	—	○	○
	精神保健福祉援助技術各論	60	6	162	—	60	6	162	—	○	—
	精神保健福祉援助演習	60	6	162	—	60	6	162	—	○	—
	精神保健福祉援助実習	270	—	—	90	270	—	—	90	○	—
合計		1,110	45	2,385	90	780	39	1,413	90	18	9

大学等においては三教科のうち、一教科

## (参考) 現行の教育カリキュラム

		時間数(単位:h)								大学等	
		一般養成施設				短期養成施設				(単位:科目)	
		通学	通信			通学	通信			指定科目	基礎科目
			面接	教材	実習		面接	教材	実習		
共通科目	社会福祉原論	60	6	162	—	—	—	—	—	○	○
	社会保障論	60	6	162	—	—	—	—	—	○	○
	公的扶助論	30	3	81	—	—	—	—	—	○	○
	地域福祉論	30	3	81	—	—	—	—	—	○	○
	心理学	30	3	81	—	—	—	—	—	○	○
	社会学	30	3	81	—	—	—	—	—	○	○
	法学	30	3	81	—	—	—	—	—	○	○
	医学一般	60	6	162	—	—	—	—	—	○	○
非共通科目	精神医学	60	6	162	—	60	6	162	—	○	—
	精神保健学	60	6	162	—	60	6	162	—	○	—
	精神科リハビリテーション学	60	6	162	—	60	6	162	—	○	—
	精神保健福祉論	90	9	243	—	90	9	243	—	○	—
	精神保健福祉援助技術総論	60	6	162	—	—	—	—	—	○	○
	精神保健福祉援助技術各論	60	6	162	—	60	6	162	—	○	—
	精神保健福祉援助演習	60	6	162	—	60	6	162	—	○	—
	精神保健福祉援助実習	270	—	—	90	270	—	—	90	○	—
合計		1,050	78	2,106	90	660	39	1,053	90	16	9

大学等においては三教科のうち、一教科

## 2 共通科目

○ 「現代社会と福祉」、「福祉行財政と福祉計画」、「社会保障」、「低所得者に対する支援と生活保護制度」、「地域福祉の理論と方法」、「心理学理論と心理的支援」、「社会理論と社会システム」、「権利擁護と成年後見制度」、「人体の構造と機能及び疾病」、「保健医療サービス」の10科目とする。

○ 教育内容(シラバス)については、国家試験によって精神保健福祉士として必要な知識及び技能が評価されることを踏まえ、詳細な内容までは示さないこととし、それらについては、出題基準の中で網羅的に反映させる。

# 現代社会と福祉(60時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。</li> <li>・ 福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。</li> <li>・ 福祉政策におけるニーズと資源について理解する。</li> <li>・ 福祉政策の課題について理解する。</li> <li>・ 福祉政策の構成要素(福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む。)について理解する。</li> <li>・ 福祉政策と関係政策(教育政策、住宅政策、労働政策を含む。)の関係について理解する。</li> <li>・ 相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。</li> </ul>	① 現代社会における福祉制度と福祉政策	○ 福祉制度の概念と理念	
	○ 福祉政策の概念と理念		
	○ 福祉制度と福祉政策の関係		
	○ 福祉政策と政治の関係		
	○ 福祉政策の主体と対象		
	② 福祉の原理をめぐる理論と哲学	○ 福祉の原理をめぐる理論	
	○ 福祉の原理をめぐる哲学と倫理		
	③ 福祉制度の発達過程	○ 前近代社会と福祉	・ 救貧法、慈善事業、博愛事業、相互扶助 ・ その他
	○ 近代社会と福祉	・ 第二次世界大戦後の窮乏社会と福祉、経済成長と福祉 ・ その他	
	○ 現代社会と福祉	・ 新自由主義、ポスト産業社会、グローバル化、リスク社会、福祉多元主義 ・ その他	
	④ 福祉政策におけるニーズと資源	○ 需要とニーズの概念	・ 需要の定義、ニーズの定義 ・ その他
	○ 資源の概念	・ 資源の定義 ・ その他	

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	⑤ 福祉政策の課題	○ 福祉政策と社会問題	・ 貧困、孤独、失業、要援護(児童、老齢、障害、寡婦)、偏見と差別、社会的排除、ヴァルネラビリティ、リスク ・ その他
		○ 福祉政策の現代的課題	・ 社会的包摂、社会連帯、セーフティネット ・ その他
		○ 福祉政策の課題と国際比較(国際動向を含む。)	
	⑥ 福祉政策の構成要素	○ 福祉政策の論点	・ 効率性と公平性、必要と資源、普遍主義と選別主義、自立と依存、自己選択とパターナリズム、参加とエンパワメント、ジェンダー、福祉政策の視座 ・ その他
		○ 福祉政策における政府の役割	
		○ 福祉政策における市場の役割	
		○ 福祉政策における国民の役割	
		○ 福祉政策の手法と政策決定過程と政策評価	
		○ 福祉供給部門	・ 政府部門、民間(営利・非営利)部門、ボランティア部門、インフォーマル部門 ・ その他

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ 福祉供給過程	・ 公私(民)関係、再分配、割当、行財政、計画 ・ その他
		○ 福祉利用過程	・ ステイグマ、情報の非対称性、受給資格とシティズンシップ ・ その他
	⑦ 福祉政策と関連政策	○ 福祉政策と教育政策	
		○ 福祉政策と住宅政策	
		○ 福祉政策と労働政策	
	⑧ 相談援助活動と福祉政策の関係	○ 福祉供給の政策過程と実施過程	

## 福祉行財政と福祉計画(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉の行財政の実施体制(国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む。)について理解する。</li> <li>・ 福祉行財政の実際について理解する。</li> <li>・ 福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する。</li> </ul>	① 福祉行政の実施体制	○ 国の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法定受託事務と自治事務</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 都道府県の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉行政の広域的調整、事業者の指導監督</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 市町村の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービスの実施主体、介護保険制度における保険者</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 国と地方の関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方分権の推進</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 福祉の財源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国の財源</li> <li>・ 地方の財源</li> <li>・ 保険料財源</li> <li>・ 民間の財源</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 福祉行政の組織及び団体の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉事務所</li> <li>・ 児童相談所</li> <li>・ 身体障害者更生相談所</li> <li>・ 知的障害者更生相談所</li> <li>・ 婦人相談所</li> <li>・ 地域包括支援センター</li> <li>・ その他</li> </ul>

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ 福祉行政における専門職の役割	・ 福祉事務所の現業員、査察指導員 ・ 児童福祉司 ・ 身体障害者福祉司 ・ 知的障害者福祉司 ・ その他
	② 福祉行財政の動向		
	③ 福祉計画の意義と目的	○ 福祉計画の意義と目的	
		○ 福祉計画における住民参加の意義	
		○ 福祉行財政と福祉計画の関係	
	④ 福祉計画の主体と方法	○ 福祉計画の主体	
		○ 福祉計画の種類	・ 地域福祉計画、老人保健福祉計画、介護保険事業計画、障害福祉計画 ・ その他
		○ 福祉計画の策定過程	・ 問題分析と合意形成過程 ・ その他
		○ 福祉計画の策定方法と留意点	
		○ 福祉計画の評価方法	
	⑤ 福祉計画の実際		

# 社会保障(60時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代社会における社会保障制度の課題(少子高齢化と社会保障制度の関係を含む。)について理解する。</li> <li>・ 社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する。</li> <li>・ 公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。</li> <li>・ 社会保障制度の体系と概要について理解する。</li> <li>・ 年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する。</li> <li>・ 諸外国における社会保障制度の概要について理解する。</li> </ul>	① 現代社会における社会保障制度の課題(少子高齢化と社会保障制度の関係を含む。)	○ 人口動態の変化、少子高齢化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女共同参画</li> <li>・ ワークライフバランス</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 労働環境の変化	
	② 社会保障の概念や対象及びその理念	○ 社会保障の概念と範囲	
		○ 社会保障の役割と意義	
		○ 社会保障の理念	
		○ 社会保障の対象	
		○ 社会保障制度の発達	
	③ 社会保障の財源と費用	○ 社会保障の財源	
		○ 社会保障給付費	
		○ 国民負担率	
	④ 社会保険と社会扶助の関係	○ 社会保険の概念と範囲	
		○ 社会扶助の概念と範囲	
⑤ 公的保険制度と民間保険制度の関係	○ 公的施策と民間保険の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間年金保険、民間医療保険、民間介護保険</li> <li>・ その他</li> </ul>	
	⑥ 社会保障制度の体系	○ 年金保険制度の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制度の目的、対象、給付内容、財源構成</li> <li>・ その他</li> </ul>
○ 医療保険制度の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制度の目的、対象、給付内容、財源構成</li> <li>・ その他</li> </ul>	

シラバスの内容		想定される教育内容の例		
ねらい	含まれるべき事項			
		○ 介護保険制度の概要	・ 制度の目的、対象、給付内容、財源構成 ・ その他	
		○ 労災保険制度の概要	・ 制度の目的、対象、給付内容、財源構成 ・ その他	
		○ 雇用保険制度の概要	・ 制度の目的、対象、給付内容、財源構成 ・ その他	
		○ 社会福祉制度の概要	・ 制度の目的、対象、給付内容、財源構成 ・ その他	
		○ 生活保護制度の概要	・ 制度の目的、対象、給付内容、財源構成 ・ その他	
		○ 家庭手当制度の概要	・ 制度の目的、対象、給付内容、財源構成 ・ その他	
	⑦ 年金保険制度の具体的内容	○ 国民年金		
		○ 厚生年金		
		○ 各種共済組合の年金		
	⑧ 医療保険制度の具体的内容	○ 国民健康保険		
		○ 健康保険		
		○ 各種共済組合の医療保険		
	⑨ 諸外国における社会保障制度の概要	○ 先進諸国における社会保障制度の概要		

## 低所得者に対する支援と生活保護制度(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について理解する。</li> <li>・ 相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度について理解する。</li> <li>・ 自立支援プログラムの意義とその実際について理解する。</li> </ul>	① 低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際	○ 低所得者層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低所得者層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要の実態</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 生活保護費と保護率の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活扶助、医療扶助、その他の扶助等の動向</li> </ul>
	② 生活保護制度	○ 生活保護法の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活保護法の目的、基本原理、保護の原則、保護の種類と内容、保護の実施機関と実施体制、保護の財源、保護施設の種類、被保護者の権利及び義務、生活保護の最近の動向</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 国の役割	
		○ 都道府県の役割	
		○ 市町村の役割	
	③ 生活保護制度における組織及び団体の役割と実際	○ ハローワークの役割	
		○ 現業員の役割	
		○ 査察指導員の役割	
	④ 生活保護制度における専門職の役割と実際	○ 保健医療との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連携の方法</li> <li>・ 連携の実際</li> <li>・ その他</li> </ul>
○ 労働施策との連携			
○ その他の施策との連携			
⑤ 生活保護制度における多職種連携、ネットワーキングと実際			

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	⑥ 福祉事務所の役割と実際	○ 福祉事務所の組織体系	
		○ 福祉事務所の活動の実際	
	⑦ 自立支援プログラムの意義と実際	○ 自立支援プログラムの目的	
		○ 自立支援プログラムの作成過程と方法	
		○ 自立支援プログラムの実際	
	⑧ 低所得者対策	○ 生活福祉資金の概要	
		○ 低所得者に対する自立支援の実際	
		○ 無料低額診療制度	
	⑨ 低所得者への住宅政策	○ 公営住宅	
	⑩ ホームレス対策	○ ホームレス自立支援法の概要	

## 地域福祉の理論と方法(60時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例		
ねらい	含まれるべき事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉の基本的考え方(人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等を含む。)について理解する。</li> <li>・ 地域福祉の主体と対象について理解する。</li> <li>・ 地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。</li> <li>・ 地域福祉におけるネットワーク(多職種・多機関との連携を含む。)の意義と方法及びその実際について理解する。</li> <li>・ 地域福祉の推進方法(ネットワーク、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法をを含む。)について理解する。</li> </ul>	① 地域福祉の基本的考え方	○ 概念と範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定義</li> <li>・ その他</li> </ul>	
		○ 地域福祉の理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂</li> <li>・ その他</li> </ul>	
		○ 地域福祉の発達過程		
		○ 地域福祉における住民参加の意義		
	② 地域福祉の主体と対象	○ 地域福祉におけるアウトリーチの意義		
		○ 地域福祉の主体		
		○ 地域福祉の対象		
		○ 社会福祉法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉の推進</li> <li>・ その他</li> </ul>	
	③ 地域福祉に係る組織、団体及び専門職や地域住民	○ 行政組織と民間組織の役割と実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方自治体、社会福祉法人、特定非営利活動法人、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、共同募金、自治会、ボランティア組織、企業、生活協同組合、農業協同組合</li> <li>・ その他</li> </ul>	
		○ 専門職や地域住民の役割と実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉士、社会福祉協議会の地域福祉活動専門員、介護相談員、認知症サポーター、その他の者の役割</li> </ul>	

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	④ 地域福祉の推進方法	○ ネットワーキング(多職種・多機関との連携を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットワーキング(多職種・多機関との連携を含む。)の意義と方法及び実際</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 地域における社会資源の活用・調整・開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域における社会資源の活用・調整・開発の意義や目的と留意点及びその方法と実際</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 地域における福祉ニーズの把握方法と実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質的な福祉ニーズの把握方法と実際</li> <li>・ その他</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 量的な福祉ニーズの把握方法と実際</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 地域トータルケアシステムの構築方法と実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域トータルケアシステムに必要な要素</li> <li>・ 地域トータルケアシステムの構築方法と実際</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 地域における福祉サービスの評価方法と実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ストラクチャー評価、プロセス評価、アウトカム評価</li> <li>・ その他</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉サービスの第三者評価事業、ISO、QC活動、運営適正化委員会</li> <li>・ その他</li> </ul>			

## 心理学理論と心理的支援(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心理学理論による人の理解とその技法の基礎について理解する。</li> <li>・ 人と成長・発達と心理との関係について理解する。</li> <li>・ 日常生活と心の健康との関係について理解する。</li> <li>・ 心理的支援の方法と実際について理解する。</li> </ul>	① 人の心理学的理解	○ 心と脳	
		○ 情動・情緒	
		○ 欲求・動機づけと行動	
		○ 感覚・知覚・認知	
		○ 学習・記憶・思考	
		○ 知能・創造性	
		○ 人格・性格	
		○ 集団	
		○ 適応	
		○ 人と環境	
	② 人の成長・発達と心理	○ 発達の概念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達の定義、発達段階、発達課題、生涯発達心理、アタッチメント、アイデンティティ</li> <li>・ 喪失体験</li> <li>・ その他</li> </ul>
	③ 日常生活と心の健康	○ ストレスとストレスサー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ストレッサー</li> <li>・ コーピング</li> <li>・ ストレス症状(うつ症状、アルコール依存、燃え尽き症候群(バーンアウト)を含む。)</li> <li>・ ストレスマネジメント</li> <li>・ その他</li> </ul>

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	④ 心理的支援の方法と実際	○ 心理検査の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人格検査、発達検査、知能検査、適性検査</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ カウンセリングの概念と範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カウンセリングの目的、対象、方法</li> <li>・ ピアカウンセリングの目的、方法</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ カウンセリングとソーシャルワークとの関係	
		○ 心理療法の概要と実際(心理専門職を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精神分析、遊戯療法、行動療法、家族療法、ブリーフ・サイコセラピー、心理劇、動作療法、SST(生活技能訓練)</li> <li>・ 臨床心理士</li> <li>・ その他</li> </ul>

## 社会理論と社会システム(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会理論による現代社会の捉え方を理解する。</li> <li>・ 生活について理解する。</li> <li>・ 人と社会の関係について理解する。</li> <li>・ 社会問題について理解する。</li> </ul>	① 現代社会の理解	○ 社会システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会システムの概念、文化・規範、社会意識、産業と職業、社会指標</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 法と社会システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法と社会規範</li> <li>・ 法と社会秩序</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 経済と社会システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市場の概念</li> <li>・ 交換の概念</li> <li>・ 労働の概念</li> <li>・ 就業形態</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 社会変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会変動の概念、近代化、産業化、情報化</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口の概念、人口構造、人口問題、少子高齢化</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の概念、コミュニティの概念、都市化と地域社会、過疎化と地域社会、地域社会の集団・組織</li> <li>・ その他</li> </ul>

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ 社会集団及び組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会集団の概念、第一次集団、第二次集団、ゲゼルシャフト、ゲマインシャフト、アソシエーション、組織の概念、官僚制</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族の概念、家族の変容、家族の構造や形態、家族の機能</li> <li>・ 世帯の概念</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 生活の捉え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライフステージ</li> <li>・ 生活時間</li> <li>・ 消費</li> <li>・ 生活様式、ライフスタイル</li> <li>・ 生活の質</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 社会関係と社会的孤立	
		○ 社会的行為	
		○ 社会的役割	
		○ 社会的ジレンマ	
		○ 社会問題の捉え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会病理、逸脱</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 具体的な社会問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 差別、貧困、失業、自殺、犯罪、非行、公害、社会的排除、ハラスメント、DV、児童虐待、いじめ、環境破壊</li> <li>・ その他</li> </ul>

## 権利擁護と成年後見制度(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談援助活動と法(日本国憲法の基本原理、民法・行政法の理解を含む。)との関わりについて理解する。</li> <li>・ 相談援助活動における必要となる成年後見制度(後見人等の役割を含む。)について理解する。</li> <li>・ 成年後見制度の実際について理解する。</li> <li>・ 社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する。</li> </ul>	① 相談援助活動と法(日本国憲法の基本原理、民法・行政法の理解を含む。)との関わり	○ 相談援助活動において想定される法律問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉サービスの利用と契約</li> <li>・ 消費者被害と消費者保護</li> <li>・ 自己破産</li> <li>・ 借家保証</li> <li>・ 行政処分と不服申立</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 日本国憲法の基本原理の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的人権の尊重</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 民法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約</li> <li>・ 不法行為</li> <li>・ 親族</li> <li>・ 相続</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 行政法の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政行為</li> <li>・ 行政事件手続</li> <li>・ 情報公開</li> <li>・ その他</li> </ul>
	② 成年後見制度	○ 成年後見の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成年被後見人の行為能力</li> <li>・ 成年後見人の役割</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 保佐の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被保佐人の行為能力</li> <li>・ 保佐人の役割</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 補助の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助人の役割</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 任意後見	
		○ 民法における親権や扶養の概要	

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	③ 日常生活自立支援事業	○ 成年後見制度の最近の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門員の役割</li> <li>・ 生活支援員の役割</li> <li>・ 日常生活自立支援事業の最近の動向</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 日常生活自立支援事業の概要	
	④ 成年後見制度利用支援事業	○ 成年後見制度利用支援事業の概要	
		⑤ 権利擁護に係る組織、団体の役割と実際	○ 家庭裁判所の役割
		○ 法務局の役割	
		○ 市町村の役割(市町村申立)	
		○ 弁護士の役割	
		○ 司法書士の役割	
		○ 社会福祉士の活動の実際	
	⑥ 権利擁護活動の実際	○ 認知症を有する者への支援の実際	
		○ 消費者被害を受けた者への対応の実際	
		○ 被虐待児・者(高齢者を含む。)への対応の実際	
		○ アルコール等依存者への対応の実際	
		○ 非行少年への対応の実際	
○ ホームレスへの対応の実際			
○ 多問題重複ケースへの対応の実際			
	○ 障害児・者への支援の実際		

## 人体の構造と機能及び疾病(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例		
ねらい	含まれるべき事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する。</li> <li>・ 国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要について理解する。</li> <li>・ リハビリテーションの概要について理解する。</li> </ul>	① 人の成長・発達	○ 身体の成長・発達		
		○ 精神の成長・発達		
		○ 老化		
	② 心身機能と身体構造の概要	○ 人体部位の名称	・ 頭部、頸部、胸部、背部、腹部、四肢、体幹、脊柱、血管	・ その他
		○ 各器官等の構造と機能	・ 血液、呼吸器、消化器、泌尿器、循環器、支持運動器官、内分泌器官、神経系、感覚器、皮膚、生殖器	・ その他
	③ 国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要	○ 国際障害分類(ICIDH)から国際生活機能分類(ICF)への変遷		
		○ 心身機能と身体構造、活動、参加の概念		
		○ 環境因子と個人因子の概念		
		○ 健康状態と生活機能低下の概念		

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	④ 健康の捉え方	○ 健康の概念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WHO憲章による健康の定義</li> <li>・ その他の定義</li> </ul>
	⑤ 疾病と障害の概要	○ 疾病の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 悪性腫瘍、生活習慣病、感染症、神経・精神疾患、先天性・精神疾患、難病</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 障害の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視覚障害、聴覚障害、平衡機能障害、肢体不自由、内部障害、発達障害、認知症、高次脳機能障害、精神障害</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM-IV)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM-IV)</li> <li>・ その他</li> </ul>
	⑥ リハビリテーションの概要	○ リハビリテーションの概念と範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リハビリテーションの定義、目的、対象、方法</li> <li>・ その他</li> </ul>

## 保健医療サービス(30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例		
ねらい	含まれるべき事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談援助活動において必要となる医療保険制度(診療報酬に関する内容を含む。)や保健医療サービスについて理解する。</li> <li>・ 保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解する。</li> </ul>	① 医療保険制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療保険制度の概要</li> <li>○ 医療費に関する政策動向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高額療養費制度の概要</li> <li>・ その他</li> </ul>	
	② 診療報酬	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 診療報酬制度の概要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な居住の場における在宅療養</li> <li>・ ターミナルケアを支援する診療報酬制度</li> <li>・ その他</li> </ul>	
	③ 保健医療サービスの概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療施設の概要</li> <li>○ 保健医療対策の概要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院、特定機能病院、回復期リハビリテーション病棟、地域医療支援病院、診療所</li> <li>・ その他</li> </ul>	
	④ 保健医療サービスにおける専門職の役割と実際	○ 医師の役割		
		○ インフォームドコンセントの意義と実際		
		○ 保健師、看護師等の役割		
		○ 作業療法士、理学療法士、言語聴覚士等の役割		
	⑤ 保健医療サービス関係者との連携と実際	○ 医療ソーシャルワーカーの役割		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療ソーシャルワーカーの業務指針</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 医師、保健師、看護師等との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連携の方法</li> <li>・ 連携の実際</li> <li>・ 医療チームアプローチの実際</li> <li>・ その他</li> </ul>
		○ 地域の社会資源との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連携の方法</li> <li>・ 連携の実際</li> <li>・ その他</li> </ul>

### 3 非共通科目

○ 「精神医学」、「精神保健学」、「精神科リハビリテーション学」、「精神保健福祉論」、「精神保健福祉援助技術総論」、「精神保健福祉援助技術各論」、「精神保健福祉援助演習」、「精神保健福祉援助実習」の8科目とする。

○ 教育内容(シラバス)については、平成10年2月24日障第91号厚生省大臣官房障害保健福祉部長通知「精神保健福祉士養成施設等における授業科目の目標及び内容について」の別添のとおりとする。

## 精神医学(60時間)

目標	内容
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 精神医学、精神医療の歴史を理解させる。</li> <li>2 脳および神経の生理・解剖の基礎を理解させる。</li> <li>3 精神医学の概念について理解させる。</li> <li>4 精神医学診断の基本的な方法について理解させる。</li> <li>5 代表的な精神障害について理解させる。</li> <li>6 治療の概要について理解させる。</li> <li>7 病院精神医学および地域精神医学について理解させる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 精神医学、精神医療の歴史</li> <li>2 脳および神経の生理・解剖</li> <li>3 精神医学の概念               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 精神医学の概念</li> <li>2) 精神障害の成因と分類</li> </ol> </li> <li>4 診断法               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 診断の手順と方法</li> <li>2) 精神症状と状態像</li> <li>3) 心理検査と身体的検査</li> </ol> </li> <li>5 代表的な精神障害               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状性を含む器質性精神障害(老人性認知症を含む)</li> <li>2) 精神作用物質使用による精神および行動の障害</li> <li>3) 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害</li> <li>4) 気分(感情)障害</li> <li>5) 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害</li> <li>6) 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群</li> <li>7) 成人の人格および行動の障害</li> <li>8) 知的障害</li> <li>9) 心理的発達障害</li> <li>10) 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害および特定不能の精神障害</li> <li>11) 神経系の疾患(てんかんを含む)</li> </ol> </li> </ol>

目標	内容
	<p>6 治療法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 身体的療法 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 薬物療法とその副作用</li> <li>② 電気ショック療法</li> </ol> </li> <li>2) 精神療法</li> <li>3) 環境・社会療法</li> <li>4) 精神科リハビリテーション</li> </ol> <p>7 病院精神医療および地域精神医療</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病院精神医療(身体合併症医療、インフォームドコンセントを含む)</li> <li>2) 精神科救急医療(インフォームドコンセントを含む)</li> <li>3) 地域精神医療</li> </ol>

## 精神保健学(60時間)

目標	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>1 精神保健についての基本知識について理解させる。</li> <li>2 ライフサイクルにおける精神保健について理解させる。</li> <li>3 精神保健における個別課題への取り組みと実際について理解させる。</li> <li>4 地域精神保健と地域保健について理解させる。</li> <li>5 諸外国における精神保健の概要について理解させる。</li> <li>6 関連法規および施設について理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 精神保健についての基本知識                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 精神保健の概要</li> <li>2) 精神保健の意義と課題</li> </ul> </li> <li>2 ライフサイクルにおける精神保健                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 胎児期および乳幼児期における精神保健</li> <li>2) 学童期における精神保健</li> <li>3) 思春期における精神保健</li> <li>4) 青年期における精神保健</li> <li>5) 成人期における精神保健</li> <li>6) 老年期における精神保健</li> </ul> </li> <li>3 精神保健における個別課題への取り組み                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 精神障害者対策</li> <li>2) 老人性認知症疾患対策</li> <li>3) アルコール関連問題対策</li> <li>4) 薬物乱用防止対策</li> <li>5) 思春期精神保健対策</li> <li>6) 地域精神保健対策</li> <li>7) ターミナルケアと精神保健</li> </ul> </li> <li>4 精神保健活動の実際                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 家庭における精神保健</li> <li>2) 学校における精神保健</li> <li>3) 職場における精神保健</li> <li>4) 地域における精神保健</li> </ul> </li> </ul>

目標	内容
	<ul style="list-style-type: none"><li>5 地域精神保健と地域保健<ul style="list-style-type: none"><li>1) 地域精神保健施策の概要</li><li>2) 地域保健施策の概要</li><li>3) 関係法規</li><li>4) 関連施策</li></ul></li> <li>6 諸外国における精神保健</li></ul>

# 精神科リハビリテーション学(60時間)

目標	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>1 精神科リハビリテーションの概念について理解させる。</li> <li>2 精神科リハビリテーションの構成について理解させる。</li> <li>3 精神科リハビリテーションのプロセスと技術について理解させる。</li> <li>4 精神保健福祉士が行うリハビリテーションについて理解させる。</li> <li>5 精神科リハビリテーションにおける連携について理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 精神科リハビリテーションの概念                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) リハビリテーションの概念と歴史</li> <li>2) リハビリテーションの理念、意義と基本原則</li> <li>3) 精神科リハビリテーションの概念</li> <li>4) 精神科リハビリテーションの理念と意義</li> <li>5) 精神科リハビリテーションの基本原則と技法</li> <li>6) わが国及び諸外国の精神科リハビリテーションの現状</li> </ul> </li> <li>2 精神科リハビリテーションの構成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 精神科リハビリテーションの対象</li> <li>2) 精神科リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割</li> <li>3) 精神科リハビリテーションに関わる専門職等との連携</li> <li>4) 精神科リハビリテーションの施設                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① 病院リハビリテーション施設等</li> <li>② 障害者自立支援法に規定する障害者福祉サービスを行う事業所等及びその他の社会資源</li> <li>③ 精神保健福祉センター及び保健所</li> <li>④ その他の協力機関、支援団体</li> </ul> </li> <li>5) 精神科リハビリテーションの関連領域</li> </ul> </li> <li>3 精神科リハビリテーションのプロセス                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) リハビリテーション計画</li> <li>2) アプローチの方法                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① 病院におけるリハビリテーション</li> <li>② 障害者自立支援法に規定する障害福祉サービスを行う事業所等及びその他の社会資源におけるリハビリテーション</li> <li>③ 地域におけるリハビリテーション</li> </ul> </li> <li>3) 疾病の経過、ライフサイクルと精神科リハビリテーション</li> </ul> </li> </ul>

目標	内容
	<p>4 医療機関におけるリハビリテーション</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 作業療法およびレクリエーション療法</li> <li>2) 集団精神療法</li> <li>3) 行動療法</li> <li>4) 認知行動療法(生活技能訓練を含む)</li> <li>5) 家族教育プログラム</li> <li>6) デイケアおよびナイトケア</li> <li>7) 精神科退院時指導、退院前訪問、訪問看護・指導</li> </ol> <p>5 精神保健福祉士が行うリハビリテーション</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 精神保健福祉士が関わる医学的リハビリテーション <ol style="list-style-type: none"> <li>① 集団精神療法における精神保健福祉士</li> <li>② 生活技能訓練における精神保健福祉士</li> <li>③ デイケアおよびナイトケアにおける精神保健福祉士</li> <li>④ 訪問看護・指導における精神保健福祉士</li> </ol> </li> <li>2) 社会的リハビリテーション <ol style="list-style-type: none"> <li>① 日常生活への適応のための訓練</li> <li>② 社会復帰のための相談・助言・指導</li> </ol> </li> </ol> <p>6 精神科リハビリテーションの総合化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域リハビリテーション <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域ネットワーク</li> <li>② ケアマネジメント</li> <li>③ 地域生活支援事業と訪問援助</li> <li>④ 家族会および自助グループ</li> <li>⑤ ボランティアの育成と活用</li> </ol> </li> <li>2) 職業リハビリテーション</li> <li>3) 精神保健福祉施策と精神科リハビリテーション</li> </ol>

# 精神保健福祉論(90時間)

目標	内容
<p>1 障害者福祉の理念と意義及び障害者基本法等全ての障害者に共通の福祉施策の概要について理解させる。</p> <p>2 精神障害者の人権について理解させる。</p> <p>3 精神保健福祉士の理念、意義、対象について理解させる。</p> <p>4 精神障害者に対する相談援助活動等を理解させる。</p> <p>5 精神保健福祉法、障害者自立支援法、精神保健福祉士法等精神障害者に関する法律の意義と内容を理解させる。</p> <p>6 精神保健福祉施策の概要について理解させる。</p> <p>7 精神保健福祉の関連施策について理解させる。</p>	<p>1 障害者福祉の理念と意義</p> <p>1) 障害者福祉の理念</p> <p>① 障害者福祉の発達</p> <p>② ノーマライゼーション</p> <p>③ リハビリテーション</p> <p>④ 生活の質(QOL)</p> <p>⑤ 生活支援</p> <p>2) 障害及び障害者</p> <p>① 障害の概念</p> <p>② 障害分類(国際障害分類を含む)</p> <p>③ 精神障害の特性</p> <p>3) 障害者福祉の基本施策</p> <p>① 障害者基本法</p> <p>② 障害者プラン</p> <p>4) 現代社会と精神障害者</p> <p>① 精神障害者の概念</p> <p>② 精神障害者と家族</p> <p>③ 精神障害者と地域社会</p> <p>④ 精神障害者のノーマライゼーション</p> <p>2 精神障害者の人権</p> <p>1) 精神障害者の権利擁護</p> <p>2) 精神医療における権利擁護</p> <p>3) インフォームドコンセント</p> <p>4) 地域社会における精神障害者の人権</p> <p>3 精神保健福祉士の理念と意義</p> <p>1) 精神保健福祉の歴史と理念</p> <p>2) 精神保健福祉士の意義</p> <p>3) 精神保健福祉士の対象</p>

目標	内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>4) 精神保健福祉士の専門性と倫理</li> <li>4 精神障害者に対する相談援助活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 精神障害者を取りまく社会的障壁(バリアー)</li> <li>2) 精神障害者の主体性の尊重</li> <li>3) 相談援助活動の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療施設における相談援助活動</li> <li>② 障害自立支援法に規定する障害福祉サービスを行う施設等における相談援助活動</li> <li>③ 地域社会における相談援助活動</li> </ul> </li> <li>4) 相談援助活動の事例</li> </ul> </li> <li>5 精神保健福祉法、障害者自立支援法、精神保健福祉士法等精神障害者に関する法律 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 精神保健福祉法の意義と内容</li> <li>2) 障害者自立支援法の意義と内容</li> <li>3) 精神保健福祉士法の意義と内容</li> <li>4) 関連法について</li> </ul> </li> <li>6 精神保健福祉施策の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 精神保健福祉に関する行政組織</li> <li>2) 精神保健福祉に係る公的負担制度(公費負担医療等)</li> <li>3) 精神保健福祉施策の課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 精神障害者福祉対策</li> <li>② 社会復帰対策</li> </ul> </li> <li>4) 精神保健福祉における社会資源 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 精神障害者保健福祉に関わる専門職との連携</li> <li>② 社会資源</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>7 精神保健福祉の関連施策 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 雇用・就業(障害者雇用促進法等の概要を含む)</li> <li>2) 所得保障</li> <li>3) 経済負担の軽減</li> <li>4) 生活環境の改善</li> </ul> </li> </ul>

## 精神保健福祉援助技術総論(60時間)

目標	内容
<p>1 精神障害者を中心とした社会福祉サービスと援助活動について理解させる。</p> <p>2 精神障害者を中心とした社会福祉援助活動の目的・価値等を具体的事例に基づいて理解させる。</p> <p>3 社会福祉援助活動における専門的援助技術の体系について理解させる。</p> <p>4 精神保健福祉士と専門的援助技術について理解させる。</p>	<p>1 精神障害者を中心とした社会福祉サービスと援助活動</p> <p>1) 援助の適用と対象</p> <p>2) 社会福祉サービスと援助活動</p> <p>2 精神障害者を中心とした社会福祉援助活動の目的・価値・原則及び諸過程と共通課題</p> <p>1) 社会福祉援助活動の目的と価値</p> <p>2) 社会福祉援助活動の原則</p> <p>3) 社会福祉援助活動の方法と過程</p> <p>① 医学モデル</p> <p>② 生活モデル</p> <p>4) 社会福祉援助活動の共通課題</p> <p>① 契約・介入・課題の意義と方法</p> <p>② 面接の意義と方法</p> <p>③ 記録の意義と方法</p> <p>④ 評価の意義と方法</p> <p>⑤ スーパービジョンの意義と方法</p> <p>⑥ 自助グループ及びボランティアとの協力</p> <p>⑦ ケアマネジメントの意義と方法</p>

目標	内容
	<p>3 専門的援助技術の体系</p> <p>1) 直接援助技術の内容と機能</p> <p>① 個別援助技術(ケースワーク)</p> <p>② 集団援助技術(グループワーク)</p> <p>2) 間接援助技術の内容と機能</p> <p>① 地域援助技術(コミュニティーワーク)</p> <p>② 社会福祉調査法(ソーシャルワーク・リサーチ)</p> <p>③ 社会福祉運営管理(ソーシャル・アドミニストレーション)</p> <p>④ 社会計画(ソーシャル・プランニング)</p> <p>⑤ その他(ソーシャル・アクション、患者権利擁護、エンパワーメント)</p> <p>4 精神保健福祉士と専門的援助技術</p> <p>1) チームアプローチと専門的援助技術</p> <p>2) 生活支援と専門的援助技術</p>

## 精神保健福祉援助技術各論(60時間)

目標	内容
<p>1 精神障害者の疾病及び障害に配慮した個別援助技術(ケースワーク)について具体的事例に基づき理解させる。</p> <p>2 精神障害者の疾病及び障害に配慮した集団援助技術(グループワーク)について具体的事例に基づき理解させる。</p> <p>3 精神障害者ケアマネジメントについて具体的事例に基づき理解させる。</p> <p>4 精神障害者を対象とした地域援助技術(コミュニティワーク)について具体的事例に基づき理解させる。</p> <p>5 精神障害者を対象とした援助技術について具体的事例に基づき理解させる。</p>	<p>1 精神障害者を対象とした個別援助技術(ケースワーク)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 疾病及び障害に配慮した個別援助技術</li> <li>2) 個別援助技術の実際と適用分野</li> <li>3) 個別援助技術におけるスーパービジョン</li> <li>4) 具体的事例検討</li> </ol> <p>2 精神障害者を対象とした集団援助技術(グループワーク)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 疾病及び障害に配慮した集団援助技術</li> <li>2) 集団援助技術の実際と適用分野(生活技能訓練を含む)</li> <li>3) 集団援助技術におけるスーパービジョン</li> <li>4) 具体的事例検討</li> </ol> <p>3 精神障害者を対象とした地域援助技術(コミュニティワーク)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域援助技術の概念と基本的性格</li> <li>2) 地域援助技術の具体的展開             <ol style="list-style-type: none"> <li>① ノーマライゼーションの推進と住民参加</li> <li>② 社会資源の活用と開発</li> <li>③ 地域社会における連携と調整機能</li> <li>④ 家族会、自助グループの支援</li> <li>⑤ ボランティア等地域マンパワーの育成と活用</li> <li>⑥ 地域援助</li> </ol> </li> <li>3) 具体的事例検討</li> </ol>

目標	内容
	<p>4 精神障害者のケアマネジメント</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ケアマネジメントの原則 <ol style="list-style-type: none"> <li>① ケアマネジメント</li> <li>② 適用と対象</li> <li>③ 人権への配慮</li> </ol> </li> <li>2) ケアマネジメントの意義と留意点 <ol style="list-style-type: none"> <li>① ケアマネジメントの意義と留意点</li> <li>② 関係機関との連携</li> </ol> </li> <li>3) ケアマネジメントのプロセス <ol style="list-style-type: none"> <li>① 受理面接(インテーク)</li> <li>② ニーズの把握とその評価</li> <li>③ 目標設定と計画的実施</li> <li>④ 包括的サービスの実現</li> </ol> </li> <li>4) チームケアとチームワーク</li> <li>5) 具体的事例検討</li> </ol> <p>5 精神障害者援助と関連専門職種との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) チーム医療における精神保健福祉士の役割</li> <li>2) 専門職等の役割と機能</li> <li>3) チームアプローチ及び生活支援の理念と精神保健福祉士の役割</li> <li>4) 協力・連携による包括的保健・医療・福祉サービス</li> </ol>

## 精神保健福祉援助演習(60時間)

目標	内容
<p>1 精神保健福祉士の専門的援助技術及びリハビリテーション技法について、実技指導を中心とする演習形態により具体的事例を取り上げ、個別指導及び集団指導を通してその精度を高めつつ習得させる。</p> <p>2 学生自身が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を養成する。</p>	<p>精神障害者に対する援助技術及びリハビリテーション技法が学生個々人に身につくよう、精神障害者の社会復帰に対する援助事例を取り上げるなどして、担当教員による個別指導並びに集団指導の下で、学生自身が積極的に報告し議論しあう形で事例研究およびロールプレイ等を行う。その際、次の点に留意すること。</p> <p>1 実習前においては、少なくとも精神科病院等保健・医療施設及び障害者自立支援法に規定する障害福祉サービスを行う施設等福祉施設における精神障害者援助技術のモデル的な事例を取り上げ、講義の内容を深め、実習の教育効果が上がるようにする。</p> <p>2 演習を通して援助関係の実際及びチーム医療の実践を身につけるようにする。</p> <p>3 実技指導等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 面接実技指導</li> <li>2) 記録実技指導</li> <li>3) 集団実技指導</li> <li>4) 評価・効果測定実技指導</li> </ol> <p>4 精神保健福祉士としての、職業倫理についての理解を身につけさせるようにする。</p> <p>5 実習後においては、実習総括をふまえて、精神障害者に対する援助技術及びリハビリテーション技法をより深めて身につけさせるようにする。</p>

## 精神保健福祉援助実習(270時間)

目標	内容
<p>1 現場体験を通して精神保健福祉士として必要な知識及び技術並びに関連知識の理解を深める。</p> <p>2 精神保健福祉士として必要な知識及び技術並びに関連知識を実際に活用し、精神障害者に対する相談援助及びリハビリテーションについて必要な資質・能力・技術を修得する。</p> <p>3 職業倫理を身につけ、専門職としての自覚に基づいた行動ができるようになる。</p> <p>4 具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系だてていくことができる能力を涵養する。</p> <p>5 関連分野の専門職種との連携のあり方を理解する。</p>	<p>精神科病院等保健・医療施設及び障害者自立支援法に規定する障害福祉サービスを行う施設等福祉施設における精神障害者援助実習には、精神障害者のプライバシーに十分配慮しつつ、下記の内容を必ず含めることとする。但し、4は必要に応じ行うこととする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 実習オリエンテーション</li> <li>2 視聴覚学習</li> <li>3 現場体験学習</li> <li>4 見学実習(急性期病棟など)</li> <li>5 専門援助技術実習指導</li> <li>6 リハビリテーション実習指導</li> <li>7 配属実習</li> <li>8 全体総括</li> </ol>